

美しくて明るく豊かなまち田布施

たぶせ



THE TABUSE ASSEMBLY NEWS

議会だより

第100号

題字は岸信介先生書

2009年(平成21年)1月23日

発行 / 〒742-1592 山口県田布施町大字下田布施 田布施町議会 ☎ 0820 52 5800 FAX 0820 52 5970

編集 / 議会広報広聴調査特別委員会 印刷 / キッショウ株式会社

<http://www.town.tabuse.lg.jp/>

E-mail: gikaijimukyoku@town.tabuse.lg.jp



田布施町成人式 1月4日

12月定例会	全会一致で補助金等適正化条例を可決	2P
---------------	-------------------	----

一般質問	児童生徒の学力向上等を問う	4P
-------------	---------------	----

委員会レポート		7P
----------------	--	----

たぶせ議会だより第100号に寄せて		8P
--------------------------	--	----

全会一致で 補助金等適正化条例を可決

12月定例会

町長提出議案

20年度補正予算

一般会計

歳入歳出それぞれ75
40万円を追加し、予算

総額を55億1640万円
とするものです。

主な歳入

町民税 4700万円増

固定資産税

1300万円増

国庫支出金

1753万円増



本 会 議 (12月11日)

平成20年12月定例会は12月11日から19日までの9日間の日程で開催されました。本定例会では、町長提出議案の補正予算4件、条例5件、指定管理関係6件、人事案件1件及び規約1件並びに委員会提出議案の委員会条例の改正1件、請願1件、陳情4件(P3掲載)の合計23件を審議しました。初日の本会議では、3人の議員が一般質問(P4～6掲載)を行ないました。

主な歳出

公共施設整備基金

2000万円

民生費(障害者自立支援
事業費、児童手当、法人
保育園の委託料等)

2637万円増

教育費(城南小学校校舎
耐震診断事業等)

1795万円増

【全員賛成】

国民健康保険特別会計

交付金収入や保険給付
費等に係る補正で、歳入
歳出それぞれ3118万
円を追加し、予算総額を
16億6654万円とする
ものです。

【全員賛成】

下水道事業特別会計

受益者負担金や事業費
の見込み等による所要の
補正で、歳入歳出それぞ
れ200万円を増額し、
予算総額を7億3633
万円とするものです。

【全員賛成】

介護保険特別会計

システム改修による介
護認定審査会への負担金
の増等による所要の補正
で、歳入歳出それぞれ8
2万円を追加し、予算総
額を10億1791万円と
するものです。

【全員賛成】

条例・規約

補助金等適正化条例の制定

これまで個別の要綱等
で対応していた補助金等
の交付に關して、より一
層の公正の確保及び適正
化を図るため新たに制定
するものです。

【全員賛成】

公益法人等への職員の派遣等に関する条例の一部改正

法の改正に伴い、関係
条文等を整理するもので
す。

【全員賛成】

国民健康保険条例の一部改正

現行の出産育児一時金
35万円に3万円を上限と
して加算するものです。

【全員賛成】

下水道条例の一部改正

下水道使用料徴収事務
の効率化等を図るため、
下水道使用料の徴収を田
布施・平生水道企業団で
行うこととし、上下水道
使用料徴収事務を一本化
するものです。平成21年
4月の納付書発送分から
実施されます。

【全員賛成】

非補助土地改良事業利子補給金に関する条例の一部改正

政策金融機関が統合さ
れたことに伴い、関係条
文の整理を行うもので
す。

【全員賛成】

新年のあいさつ



住民自治を基本に

議長 向井 恒夫

町民の皆様、新年おめでとございます。

世界は一つと云われますように、昨年より米国のサブプライムローン問題に端を発した金融危機は、今や、雇用不安にまで発展し、国民生活に重大な影響を与えています。

さて、私も議員は本年2月26日で任期満了と



国の景気対策等に期待

副議長 西本 敦夫

明けましておめでとうございます。

100年に一度といわれる世界的な経済危機が、国民生活に大きな不安を与えています。昨年末に発表された「2008年の漢字」は「変」。

「来年は世の中も自分達も新しく変わっていき希望のある社会にしていきたい。」という意味が込められています。

指定管理

次の6施設について、いずれも指定期間を平成21年4月1日から平成24年3月31日までの3年間として指定管理者を再指定しようとするものです。

○のんびらんど・うましまの指定管理者に「馬島自治会」

○ふれあいプラザ（地域交流館）の指定管理者に「協同組合田布施地域交流館」

○小行司特産加工センターの指定管理者に「企業組合小行司健康グループ」

○たぶせ特産加工センターの指定管理者に「生活改善実行グループ連絡協議会加工部会」

○心身障害者福祉作業所の指定管理者に「心身障害児者父母の会」

○田布施町高齢者介護予防センターの指定管理者に「社会福祉法人施福会」

【すべて全員賛成】

人 事

人権擁護委員の推薦



金長 広典 氏

金長広典委員の任期満了（平成21年3月31日）に伴い同氏を再任するものです。

【全員賛成】

委員会提出議案

委員会条例の一部改正

田布施町議会議員の定数が13人となることに伴い、常任委員会の委員定数を改正するものです。

総務文教委員会

7人→7人

経済厚生委員会

7人→6人

【全員賛成】



あなたの要望は
こうなりました

請願

上関原発建設反対を求める請願書

熊毛郡上関町大字室津6707

原発に反対する上関町民の会共同代表

岩木基展 他2名

（委員会の意見はP7掲載）

陳情

上関原子力発電所の建設促進を求める陳情書

上関原子力発電所立地促進商工団体協議会会長

藤麻 功

（委員会の意見はP7掲載）

▼不採択

保険でよい歯科医療の実現を求める意見書採択を

求める陳情

下関市貴船町3-1-1 中央ビル3F

山口県保険医協会会長

高橋泰昭 他2名

▼継続審査

最低賃金制度の改正を求める陳情

山口市中央4丁目3-3

山口県労働組合総連合議長 河清盛正

▼継続審査

地域の入院医療を守り、安心して暮らせるための医療、介護、福祉施策の充実を求める陳情書

下関市貴船町3-1-1 中央ビル3F

療養病床の患者さんを守る会代表世話人

生田京二 他5名

▼継続審査



12月定例会
一般質問

児童生徒の学力向上等を問う

債権管理条例

制定は

検討段階である

高川 喜彦

長信町長



高川 喜彦 議員

Q 財政の健全化が急務となっている。私は昨年の6月議会で債権管理条例制定を検討するよう提言させていただいた。

債権管理条例制定は、町民と町にとって双方メリットがあると考え提言している。その後どのような取り組みをされているかお尋ねする。

A 県内に私債権の管理に関する条例を制定されている自治体があるか調査をしたが、制定団体はなく、現在、制定されている明石市など6団体の条例の検討を行っている段階である。今後、収納対策室を中心に、各滞納債権と時効などを整理し、未収債権の徴収・回収を強化したい。



授業風景

平生警察署

なぜ柳井署に統合

高川

効率的な配置と聞く

町長

Q 警察署は、地域の住民の生命、財産を守る崇高な使命を担っている。

平生署は、歴代署長をはじめ署員の皆さんが交通安全や防犯活動で住民の安全、安寧を守る職務に精励され、地域に密着した警察署であります。その警察署を何故統合するのか。

A 警察署再編整備計画は

平成17年に県警により策定されたもので、再編前の27警察署体制は昭和29年から見直しをされておらず、必ずしも効率的な配置とは言えない状況にあった。警察官50人以下の小規模警察署の統合等により、今後16警察署に再編される。



平生警察署

児童生徒の学力向上

取り組みを問う

高川

読解力や記述力の向上に努める

尾崎教育長

Q 脱「ゆとり教育」の新指導要領に改定されて間もないが、今年の学力テストの成績の結果にどう対応されているか。

私は、「学校は、人間

を育て、学力をつけるところ」と思う。教育委員会は、今、どのような取り組みを指導されているのか。

A 本町では、全国学力・学習状況調査の結果について、「学校だより」等を利用して保護者へ公表するよう指示している。これから求められる学力として、「読解力や記述力の向上」、「基礎的な言語活動の充実」など「ことばの力を育てる」ことが重要課題となっている。

その他の質問

。定額給付金について

小・中学校のいじめ

現状及び対応等を問う

畠中 孝

支援体制を整備

尾崎教育長



畠中 孝 議員

Q 一昨年の12月定例議会での私の一般質問が切っ掛けとなり、その後「田

布施町いじめ根絶アピール」が出された。しかし、最近いじめの



元気に遊ぶ子どもたち

散歩犬の糞害

条例制定の考えは 畠中

現在の条例で対応可能 町長



散歩犬の糞害を訴える田布施川周辺地域

A 田布施川及びその周辺地域は多くの環境美化ボランティア等の協力で

Q 特に田布施川及びその周辺地域や詩情公園で糞害を訴える声を多く聞く。現状をどのように把握しているか。「美しいまちづくり推進条例」に糞の処理について規定があるが、糞害を取り締まる、より実効性のある条例制定の考えはあるか。

とても綺麗になっている。しかし、一部の方が糞を処理せず迷惑をかけていることも聞いている。現行条例で対応可能であり、今後も犬の適正な飼育も含め広報等を通して啓蒙・啓発活動に努める。

の利用者の状況が当初アンケート調査結果で見込んだ人数よりかなり少なく、利用者の掘り起こしに努めているというものであった。今後の町民の交通移動手段をいかにすべからば町内組織を配置し、総合的に検討したい。

A いじめは平成18年、19年と大幅に減少している。平成20年は5件の内1件は解消し、残りは解消に向けて取り組み中である。不登校は現在中学校で6名である。各校へのカウンセラー配置等、支援体制の整備を進めている。携帯電話等をめぐる問題への対応も進めている。

被害について相談を受けている。いじめ及び不登校についての現状を問う。いじめ等への対応はどうなっているのか。

乗り合いタクシー

今後の取り組みは 畠中

庁内組織を配置する 町長

Q 今年3月定例議会で「高齢者が求める乗り合いタクシー」の取り組みを伺った。答弁は「本町ではタクシー利用助成事業を実施しており、現在、その計画はないが、今後調査、研究を行う」というものであった。調査研究の状況を尋ねる。今後の取り組みは如何か。

A 周南市鹿野地区での事業の調査結果は、実際



周南市鹿野地区の乗り合いタクシー

平成18年度から20年度まで3か年の 緊急財政再生プランによる財源確保の状況

(H20.12.19現在)

区 分	実績額(見込み)
人件費の抑制	2億4,182万円
組織・機構の見直し	3,392万円
事務事業経費の削減	2億1,470万円
補助金の削減	2,300万円
負担金等の削減	578万円
投資的経費の削減	4億3,138万円
前納報奨金の廃止	1,344万円
町営渡船共同運航による経費削減	1,081万円
手数料・使用料の見直し	1,495万円
都市計画税率の見直し	1億4,349万円
収納率の向上と滞納整理の促進	599万円
土地売却等	4,793万円
その他	4,181万円
計	12億2,902万円

Q 財政健全化は最重要課題である。現状と今後の取り組み、21年度の予算

編成の基本方針について尋ねる。特別職の報酬削減は一年ごとの更新とな



石田 修一 議員

念頭に置き予算編成する

長 信 町 長

今後の取り組みは

石田 修一

財政健全化

支援体制

地域の活性化は

石 田

支援を検討していく

町 長



牛の放牧前

牛の放牧後

Q 本町は休耕田が多い。耕作放棄による荒廃地の復旧には牛の放牧が有効との提案があり、任意団体で牛の放牧を実施したところ環境整備やイノシシ対策に有効であった。行政も新しい発想、挑戦ができる環境づくりや団体支援体制を

A 牛の放牧による環境保全活動は地域が抱える課題をアイデアにより、自主的に解決する事例で、児童も動物と触れ合う貴重な体験となり、環境保全にも寄与する素晴らしい活動だ。行政としてもこうした活動を支援していく必要があると考え、支援体制を検討する。

確立し、地域活性化を図ってはどうか。

A 3か年の緊急財政再生プランで約12億円の成果をあげたが、根本的な財政収支や公債費負担は改善できていない。新年度予算は財政健全化を念頭に置き十分精査し、予算編成に当る。特別職の報酬は報酬審議会に諮り、引き続き給与抑制を実施する考えである。

っているが、引き続き実行されるのか。県は5%カットを10%カットに引上げるとあるが、本町の対策はいかがか。

麻里府児童クラブ

新設は

石 田

21年度から設置する

町 長

A 以前から要望はあったが、開設基準である利用者見込みが少なかったため、見送っていた。このたび地元から要望書が出され、要望書に沿った

Q 男女共同参画社会の実現が進む中で共働きの家庭が増加している。先般、関係者から麻里府児童クラブ新設の要望書が提出されたと思うが、町内の他の4校区は既に児童クラブがある。どの校区でも同じ環境で教育が受けられるよう早急な新設を願う。

利用があれば、県補助の対象になることから21年度から設置したいと考えており、学校と協議する。



ボランティアによる放課後児童教室

委員会レポート

総務文教



総務文教委員会（12月17日）

総務文教委員会は12月17日に開催し、付託された町長提出議案3件及び請願1件、陳情1件を審査しました。主な内容は次のとおりです。

20年度一般会計補正予算

Q 麻郷地区での野犬捕獲の状況について聞く。

A 県の指導を受け、県と協力し実施した。地元の要請もあり、地域住民の安心・安全面から今後も状況をみて実施する。

Q 小学校施設の第2次耐震診断の方法について聞く。

A 現況の耐震診断及び耐震改修計画策定を行うものであり、その後に耐震補強設計を行うこととなる。

補助金等適正化条例の制定

Q 他の自治体にも同様の条例はあるのか。

A 県内にはない。全国でも僅かである。

上関原発建設反対を求める請願書
上関原子力発電所の建設促進を求める陳情書

意見 上関原子力発電所建設問題は上関町の政策判断であり、それを尊重すべきである。一方、原子力発電所の安全性について不安感等があり、地域住民の意見も様々で賛否が確定していない。このような状況下において、上関原子力発電所建設問題の賛否を結論づけるのは、適当でない。よって、趣旨に沿い得ない。

20年度一般会計補正予算

Q 河川公園の石ブロックの箇所が工事中だが、今後どうなるのか。

A 町が県にお願いして行っている。将来的には県工事で環境整備、芝生の植栽等される予定である。

20年度国民健康保険特別会計補正予算

経済厚生委員会は12月15日に開催し、付託された町長提出議案14件及び陳情3件を審査しました。主な内容は次のとおりです。

Q 電子計算機更新事業に対して、国の補助金はあるのか。

A 高齢者調整交付金の資料算定用であり、補助金はない。

20年度下水道事業特別会計補正予算

Q 受益者負担金前納報奨金は、収納率を考えれば、廃止しない方が良いのでは

経済厚生



経済厚生委員会（12月15日）

はないか。
A 前納報奨金制度は持ち優遇ではないかとの意見もある。現在、どうするか検討中である。

下水道条例の一部改正

田布施・平生水道企業団規約の変更

Q 徴収業務を水道企業団へ委託して、町はいくら経費削減できるのか。

A 19年度ベースで334万円の削減になる。

だより に寄せて

向井恒夫

議会広報は、議会活動についての情報を町民の皆様に提供することによって町民の皆様に議会と町政への関心を深めてもらうために必要不可欠なものです。第100号を迎えることができ、今まで編集に携わってこられた広報委員の皆さんに敬意を表します。



高川喜彦

第100号を心より慶祝いたします。私も創刊以来19年「議会だより」は議会翼、翼を持たない議会は、21世紀を「飛翔ない」を本紙の綱領として編集に関わったひとりであります。本紙が、議会と住民を結ぶパイプ役として一層の充実を期待しています。



谷村善彦

平成15年2月永年在職町村議会広報委員として感謝状をもらった。8年以上広報委員を務めたからだ。その間全国コンクールで優秀賞、最優秀賞という名誉な賞をもらった事が思い出。特に雪の降る日に東京まで授賞式に行ったことが昨日のことのようです。



西本敦夫

平成11年に初当選した時、先輩議員から議員として役立つという理由で勧められ編集委員になりました。当時、全国最優秀賞になり41町187人が視察で来町され対応に大変であった事、試行錯誤で原稿、見出し等を考え苦悩した事等が今では懐かしい思い出です。



浅原義夫

私は広報委員として4年間、記事の作成、レイアウト、校正などの編集作業に携わり、無事任務を務めることができました。今後も、議会情報を町民に提供する手段として重要な役割を担っている議会だよりに期待しています。



石田修一

議会だより創刊当時、私は西京銀行田布施支店勤務だった。その頃田布施は駅前だけが中心街で役場周辺はほとんどが田んぼ。商工会青年部と町の振興策を模索し日夜活動した。現在を中心街が拡大し確実に発展している。今後も活力ある町づくりを目指したい。



「たぶせ議会だより」の歩み

- S59 創刊（7月20日）
- S62 9号が町村議会広報全国コンクールで佳作
- H 1 17号が町村議会広報全国コンクールで佳作
19号から表紙（裏・表）のカラー印刷を始める
- H 3 24号が町村議会広報全国コンクールで入選
- H 6 35号が町村議会広報全国コンクールで奨励賞
- H 9 50号が町村議会広報全国コンクールで奨励賞
- H10 53号が町村議会広報全国コンクールで奨励賞
- H11 57号が町村議会広報全国コンクールで優秀賞（5位）
63号から活字ポイントを8から10、縦の文字数を12から11に変更
- H12 61号が町村議会広報全国コンクールで優秀賞（2位）
- H13 65号が町村議会広報全国コンクールで最優秀賞
- H14 74号から議会広報公聴モニター（10名）制度を始める
- H15 77号から活字ポイントを10から11に変更
- H18 89号から表紙（裏・表）を経費削減のため2色刷に変更

たぶせ議会
第100号

吉見利彦

100号発刊と簡単に思われますが、25年の長き年月を要しています。その間町民の方々より数々のご提言を頂き一歩一歩前進して全国最優秀表彰を受けるまでに成長し、他議会より研修に来町されるまでになりました。今後とも議会だよりをよろしくお願ひします。



清神 清

議会だよりも先輩議員たちの並々ならぬ努力と苦勞の結果、昭和59年の創刊号から25年の歴史が刻まれた。中でも65号は全国で最優秀を受賞した。私も委員長のお役を4年間務めさせて頂き、先輩たちの苦勞が身にしみて感じられ、勉強できた事が感謝です。



藤山 巖

地方議会は、執行側との丁丁発止の議論なくして活性化しない。本議会は最近頃（とよ）に議論が活発に展開されるようになった。



議会と住民を繋ぐ唯一の媒体が議会だよりだが、限られた字数に阻まれ、執筆からすれば隔靴搔痒の感は否めず、100号を機に格段の思いだ。

木本睦博

議会だより100号、言葉で表せば簡単であるが25年という長い歳月が過ぎていく。その間、全国最優秀賞を始め数々の賞を受賞している。先輩議員のご努力に敬意を表するとともに、この記念号の編集に関わったことを大変誇りに思っている。



畠中 孝

私の任期中の4年間は合併に関わるものを始め、暗いニュースが多かったようだ。また昨年末の世界同時不況の影響で我々の生活も厳しさを増している感がある。今後は明るいニュースを提案出来るよう町職員、議会共に協力しての行財政への取組みに期待する。



※守田一登議員からは投稿いただきましたが、内容がテーマに合わないので、協議した結果、掲載しませんでした。また、林山健二議員からは投稿いただけませんでした。

議会だより99号を

読んでの感想です

H・Tさん(60歳代男性)

9月定例会の見出しに「小学校の耐震化等を問う」とある。過去、小学校に長年勤務していた関係で気になる。

町内の小学校には地震で倒壊する危険性があり、耐震化を図らなければならぬ校舎が7棟存在するようである。中国での地震の例にもあるように児童の安全を守る対応が急がれる。

これに関連して小学校の適正配置が採り上げられている。県立高校の空き校舎を小学校として活用する案も浮上しているようだが、町民の意見をしっかりと聞いてほしい。経済論理が優先してはいけないであろう。

A・Yさん(60歳代男性)

今号は、平成19年度の決算が認定された記事が載っていました。円グラフで標示してあり、とても見やすいです。町民税(個人、法人)の増が、

全体の減収の幅を少なくしています。個人町民税は人口が増えている証でしょう。法人町民税は世界同時不況によつて今年度はどうでしょう。特別会計では、老人、介護などの医療の予算が追加の認定をされています。医療費の増加に歯止めはかかるのでしょうか。全国でも近い将来破綻する県があるように報道されています。他人事ではありません。一般質問の「町民の負担率を問う」では、負担率の高さに唖然としました。この記事を見て

各層が増えるかもしれない。決算の載る号は、いつも気が滅入ります。O・Eさん(70歳代女性)

表紙の写真稲刈りは子供の頃の手伝いを思い出します。体験だけに終わらず食べ物に感謝することも学んだことでしょうか。19年度決算103億円という見当もつかない大きな数字が目に入りましたが、次頁の表とグラフで少しは解りやすく見ることが出来ました。

一般質問での税と社会保障費の負担率試算表で高所得者ほど率が低く、低所得者ほど負担率が高いのは政策とはいえ疑問を感じます。

町の財政難を乗り切るためにも町政のご意見番として議員さんのご活躍を期待しています。

K・Yさん(70歳代女性)

今回の記事の中で見逃せない関心事は、小学校の耐震化、小学校適正配置、高校再編統合による空き校舎の本町移管への期待でした。問題を抱えた南部の小学校、改築中

の東田布施小、田布施工業高校の写真が添えてあって、とても身近に感じました。この三つの関連が実にタイムリーで、町としての期待は高まることでしょうか。

美しくて明るく豊かなまち田布施、そこに生きる子どもたちの未来を見据えた上で、善処していただきたいと思いました。

N・Tさん(70歳代男性)

モニターを引き受けて2年目、以前にも増して熟読しています。その後、町のホームページの「町議会情報」を読んでいますが重複記事が多いように

に思われます。議会だよりは限られた紙面で、なお全戸数配布でしようから予算の関係上割愛記事になるのはしょうがないと思つていますのでその分「町議会情報」により詳しく載せて欲しいです。

本年度の町議会に提出された議案は紙面を見るかぎり全員賛成ばかりです。議会は町で決めたことの追認機関ではないはずで、3ページ目の「平成19年度決算の概要」は、広報たぶせ787号に詳しく載っているのでもう必要ないと思います。

「議員リレー随筆」は議員の人物、考え方が分

編 集 後 記

昨年は元厚生事務次官が殺害された事件を始め全国的に暗いニュースがとも多い年でした。本町もきびしい状況の中、職員数の削減等依然として行財政改革を推進中であり、町民への負担も増加の感があります。

新年を迎え、今年こそは良い年であれと願う気持ちです。

本町が取り組む指定管理者制度もほぼ軌道に乗っており、来年度の再契約の準備も順調に運んでいるようで、今後の発展を期待しています。

今号は第100号記念でもあり、晴れ着の美しさを見ていただきたいと

かつて楽しく拝見させてもらっていたが、なくなつていたのが残念です。

議会を
傍聴しましょう

3月定例会のお知らせ

3月11日から開催される予定です(一般質問は11日)。正式には、3月5日開催の議会運営委員会決定します。詳しくは、議会事務局(☎52・5800)にお問い合わせください。

思い、表紙をカラーにしました。

終わりに、皆様からたくさんのご意見を賜りありがとうございます。これからも「議会だより」を愛読くださいますようお願いいたします。

広報委員長

畠中 孝